

教育目標「ふるさとを愛し、心豊かに、挑戦し続ける生徒の育成」

新温泉町立夢が丘中学校
令和6年3月4日(月)

熱誠

第11号



～今週末は卒業式、次のステージへ進む準備を・高く飛(跳)ぶには足元を固める 2～

私立高校の入試や兵庫県立高校の「推薦入学選抜」も終わり、3年生の数名はすでに進学先が決定しています。進路は3年生になってから・・・ではなく、1・2年生のときから将来像を描き、学ぶことの意義や社会とのつながり等も考えていかなければなりません。「進学」は「進路」の一つであり、その決定には自らの意思と責任を持ち、実現するための努力を重ねることが必要です。

次の学年や進路先での大きな成長や活躍に期待が膨らむところですが、大空に向かい力強く飛び立つためには、①自分の足腰を鍛える②飛(跳)び方やタイミングを考える③風の向きなどの状況判断をすることです。しかし、もう一つ欠かせないことは、自分の足をしっかりと固め「足場」をつくることです。強靱な足腰で、タイミング良く、正しい飛(跳)び方で、追い風のときにジャンプをしても、足元が不安定であれば、空高く飛躍できません。まず、足元を固め「足場」をつくることです。そのために必要なことは、自分の一番身近にある課題や問題から目を背けず、勇気をもって自ら向き合うことです。

～3年・卒業会食「レストラン橋」～ 2月27日(火)28日(水)



夢が丘中PTA、給食センター、みかた和牛同志会、新温泉町夢公社、みかたECO協議会、新温泉町畜産振興会からの補助をいただき、ふるさとの誇る特産品「但馬ビーフ」の味を堪能しました。中学校での給食の良い思い出となるとともに、ふるさと学習で但馬牛についても多くを学んだ3年生にとって、格別の味であったことと思

「思わず顔がほころぶ」ます。

～夢が丘中学校へ新日本海新聞社から表彰状～ 2月28日(水)

全校生を代表して3年生が、新日本海新聞社但馬支社より表彰を受けました。2年間に渡り日本海新聞に連載してきた(現在も連載中)「夢が丘からの眺望」や学校新聞づくり等が、NIE=Newspaper in Education(学校などで新聞を教材として活用する活動)として評価されての受賞となりました。また、3年生から但馬支社長へ感謝状と寄せ書きを手渡しました。「夢が丘からの眺望」の一部は、3月31日(日)まで「リフレッシュパークゆむら」で再展示しています。



NIE活動表彰式とサプライズの「寄せ書き」

～第3回学校運営協議会～ 2月21日(水)

保護者アンケートや学校評価、学校保健委員会の報告や1年間の活動を振り返り、意見交流を行いました。委員の皆様には「ふるさと学習」の講師紹介や地域でのボランティア活動の連絡・調整、資源回収や学校奉仕作業等、大変お世話になりました。また、学校行事にも出席していただき、貴重なご意見も伺うことができました。さらに、「生徒・職員が笑顔で一生懸命に取り組んでいる様子が本当に良く分かった」との言葉もいただきました。

==== 3月の主な行事予定 ====

3月4日(月) 生徒会役員立会演説会/選挙	18日(月) 1・2年学年末個別懇談会①
6日(水) 3年給食最終日	19日(火) 1・2年学年末個別懇談会②
7日(木) 卒業式準備	20日(水) 春分の日/県中卓球1年生大会
8日(金) 第19回卒業証書授与式	21日(木) 1年学年末個別懇談会③
13日(水) 職員会議	22日(金) 修了式
15日(金) 2年ふるさと学習「浜坂探訪」	23日(土)～4月7日(日) 春季休業日

～部活動・文化作品等の表彰～

第61回全国中学校スキー大会出場・2月6日(火)～長野県・野沢温泉

井上雪輝さん 兵庫県代表選手選考会で、GSL・SLの両種目で第1位の成績を収め、全国大会へ出場しました。SL種目では全国42位でした。

第42回全国中学生人権作文コンテスト中央大会

法務省人権擁護局長賞 3年 川元桃花さん「知ること」

兵庫県大会で奨励賞を受賞した3年長谷川栞帆さんとともに表彰を受けました。川元さんは全国25名の受賞者の一人に選ばれました。



～新日本海新聞社但馬支社への感謝状～

感謝 ～ありがとうございます～

私たちは、2年前の2年生の6月から新日本海新聞社の皆様のご協力で、日本海新聞に月2回寄稿文を連載させていただきました。始めは、そんなことが実現できるのかと半信半疑でしたが、初めて自分たちの名前が新聞に掲載されたときはびっくりしました。

地方の方にも読んでいただき、知り合いや親戚から「新聞読んだよ」と声をかけてもらうこともあり、とてもうれしく思いました。地域を調査し、家族や知り合いに意見を聞き、課題のレポートを書くのは正直、大変なこともありましたが、町や地域の将来のことを考えるきっかけとなりました。そして、この町には多くの魅力があることも知り、その魅力を多くの人に知ってもらいたいと考えようになりました。新聞に自分の意見や考えが載った時、社会の一員として認められた感じがして、少し大人になったように感じました。この活動を通して、社会や将来に対して自分の意見を持つということの大切さを感じ、自分の考えや意見に責任を持たなければと思うようになりました。意見や考えを持ち、一人の住民として地域や行政に関わる必要性も学びました。そして、考えたことが、一つでも地域の未来のためになればと思うようになりました。

2年間にわたり、私たちの地域社会を通しての学びにご協力くださり本当にありがとうございました。全国どこの中学生も経験したことのない(?)長期にわたる新聞連載。そこで意見や考えを発表して、地域とつながる学びをさせていただきました。



私たちは、来週には卒業式を迎えます。新日本海新聞社の皆様にお礼と感謝の気持ちをお渡ししたいと思います。本当にありがとうございました。

令和6年2月28日

夢が丘中学校 2023年度3年生一同